

教科「国語」シラバス

I. 学習の到達目標と評価の観点

(教科名) 国語	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 古典探究	4	高3《文系必修》	『精選 古典探究』第一学習社 『2026共通テスト対策【実力養成】重要問題演習 古典』Benesse 『基礎から学ぶ 解析古典文法 三訂版』桐原書店 『Key&Point 古文単語330 三訂版』いっずな書店 『漢文学習必携 三訂増補版』京都書房 『新訂 国語図説 五訂版』京都書房
学習の到達目標	・大学入試の過去問題や予想問題を読み解く中で、古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。文法や敬語をはじめとする読解スキルを身につける。【知】 ・古典作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。古文や漢文を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めることができる。【思】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。【主】		
評価の観点	《知識・技能》 古典の文章を正確に読み解くために必要な語彙、文法事項、古文常識等の知識や技能を習得している。		
	《思考・判断・表現》 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		
	《主体的に学習に取り組む態度》 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させる。また、協働して古文解釈に取り組み、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。		

【定期考査における観点別評価について】

年間4回の定期考査において、各回とも問題ごとに《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》の3観点における評価を行い、点数化し、評定算出の基本資料とする。

【点数化が難しい科目や課題について】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの……………100%
B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの……………80%
C：「努力を要する」状況と判断されるもの……………60%
D：未提出、未実施……………0%

2. 学習計画及び評価方法等

※教育的効果を考え、事前に生徒に説明した上、扱う教材・内容を変更することもある。

2 学 期 中 間 考 査 ま で	【古文】 ・読解演習 【漢文】 ・読解演習 【小テスト等】 ・古文単語テスト	・様々な時代・分野の作品に触れる中で、習得した知識を生かして内容を解釈する訓練を積む。 ・背景知識や古文常識・文学史の知識を確認する。 ・読解演習を通して、漢文を読むために必要な訓読のきまりについて、理解する。 ・句法や漢文常識を習得する。 ・文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深める。 ・古文単語テストに週1回取り組み、単語力を強化する。	共通テスト予想問題 私立大学入試過去問題
2 学 期 期 末 考 査 ま で	【古文】 ・読解演習 【漢文】 ・読解演習 【小テスト等】 ・古文単語テスト	・様々な時代・分野の作品に触れる中で、習得した知識を生かして内容を解釈する訓練を積む。 ・背景知識や古文常識・文学史の知識を確認する。 ・読解演習を通して、漢文を読むために必要な訓読のきまりについて、理解する。 ・句法や漢文常識を習得する。 ・文章の構成や展開のしかたを的確に捉え、内容への理解を深める。 ・古文単語テストに週1回取り組み、単語力を強化する。	共通テスト予想問題 私立大学入試過去問題 国公立大学入試過去問題
3 学 期 期 末 考 査 ま で	自宅学習		

【成績評価の概要について】
(1) 学期における評価の対象 ① 中間考査：100点《知識・技能》《思考・判断・表現》 ② 期末考査：100点《知識・技能》《思考・判断・表現》 ③ 平常点（授業内小テスト、提出課題等） ：50点《知識・技能》《思考・判断・表現》《主体的に学習に取り組む態度》 (2) 学期評定の算出方法 定期考査の素点合計200点に対し、平常点合計は50点とし（素点：平常点＝4：1）、多面的評価を行う。 (3) 年度末評定の算出方法 定期考査の素点合計400点（4回分）に対し、平常点合計は100点とし（素点：平常点＝4：1）、多面的評価を行う。